

社団法人札幌青年会議所 2014年度

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）・委員会運動方針（案）

副理事長確認日 2013年10月24日

室長確認日 2013年10月24日

副理事長	奥山 倫行	室名	まちの魅力創造室	室長	神代 晃嗣
------	-------	----	----------	----	-------

室キャッチフレーズ（案）

Design the future with passion

室基本方針（案）

札幌は厳しい自然環境にも関わらず、まちを愛する先人たちの汗と努力により、今日まで発展してきました。しかしながら、わが国は少子化にともなう人口減少や地域力の低下など、札幌の未来にも影響を及ぼす解決しなければいけない多くの課題を抱えています。

当室では、これらの課題を乗り越え、札幌を持続的に発展させていくために、すべての原動力となる、まちを想うひとの力を改めて検証し、引出してまいります。そして、責任世代である私たち自身が主体となって、明るく輝く次代の札幌の「かたち」を夢に描き、ひとが持つ力を最大限に活かしながら、実現に向けての運動を展開してまいります。

また、地域に潜在している素晴らしい資源を見直し磨きあげるとともに、夢と行動力をもって活動する「ひと」と「ひと」、「ひと」と「地域」を有機的に結合させることで、地域力や発信力を高め、真の札幌の魅力をより広く伝播する運動を展開してまいります。

委員会	札幌の未来創造委員会	委員長	青山 竜太
-----	------------	-----	-------

委員会運動方針（案）

近年札幌はめざましい発展を遂げてきましたが、混沌とした時代が長引くなか、私たち自身が、夢を描く心を失いつつあります。今こそ私たちの心に夢を宿し、市民に活力を生み出す必要があると考えます。

当委員会では、先人たちが夢を描き未来を切り拓いてきたように、市民に夢をもって行動することの重要性を伝えるとともに、まちの未来の創造に向けて一人ひとりの当事者意識を高める運動を展開してまいります。

委員会	札幌の魅力発信委員会	委員長	伊藤 龍平
-----	------------	-----	-------

委員会運動方針（案）

札幌は、国内有数の魅力的なまちとして評価されていますが、今後もまちの魅力を維持し高めるためには、時代と環境の変化に対応すべく、進化し続ける必要があります。

当委員会では、札幌が有する人材などの素晴らしい魅力を検証し磨きあげることで、新たな原動力を生み出してまいります。また、まちを想い活動している「ひと」と「地域」のつながりを強めることで、真の札幌の魅力を強く発信する運動を展開してまいります。

社団法人札幌青年会議所 ２０１４年度

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）・委員会運動方針（案）

副理事長確認日 ２０１３年１０月２４日

室長確認日 ２０１３年１０月２４日

副理事長	小田 祐司	室名	たくましい人材育成室	室長	油矢 紗也香
------	-------	----	------------	----	--------

室キャッチフレーズ（案）

「和の精神」が人を育て、未来を創る

室基本方針（案）

札幌を創り上げた先人たちがいて、現在を生きる私たちがいます。どの時代にも、力強い意志をもって地域を牽引したリーダーがいます。私たちはＪＡＹＣＥＥであるからこそ不自由のない現代社会に甘えず、未来を切り拓く高い志と人々を幸せへと導いていく気概をもった青年経済人である必要があります。

当室では、次代を担う責任世代の我々が生き活きと経済活動を営み、家庭や会社のみならず地域社会に豊かさをもたらす「人財」となるよう、市民の先頭に立ち、地域の発展のために貢献する社会的責任を果たせるたくましい青年経済人を育成してまいります。

また、わが国、そしてわがまちの歴史と伝統を受け継ぐ心を大切に、環境や時代の変化に翻弄されない、揺るぎない精神性を備えた人材を育てていく運動とともに、日本人としての自信と誇りをもって国際社会と向き合い、地域を導く指針となるたくましい人材を創出する運動を展開してまいります。

委員会	たくましい青年経済人育成委員会	委員長	羽田野 健
-----	-----------------	-----	-------

委員会運動方針（案）

日本経済は景気の低迷が続き、先行きの見えぬ状況から抜け出せずにいます。この状況を打破するためには、若さと無限の可能性を秘めた私たち青年の力が必要です。

当委員会では、我々に求められている資質を様々な角度から調査・研究いたします。さらに、青年経済人に必要な素養を学び、磨く機会を創出し、市民の意識改革と継続的行動を促すことで、地域を牽引するたくましい青年経済人を育成する運動を展開いたします。

委員会	誇りある日本人育成委員会	委員長	菊地 幸広
-----	--------------	-----	-------

委員会運動方針（案）

私たちが、このまちで豊かな暮らしを送ることができるのは、幾多の苦勞を乗り越えられた先人たちの開拓の歴史があるからです。

当委員会では、先人たちから受け継がれてきた開拓者精神や、歴史と伝統を再認識し、誇りある日本人としてあるべき姿を見つめ直すことで、わが国の正しい歴史観と国家観、そして未来を切り拓く誇りある精神性をもった、グローバル社会を生き抜くたくましい人材を育成する運動を行ってまいります。

社団法人札幌青年会議所 ２０１４年度

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）・委員会運動方針（案）

副理事長確認日 ２０１３年１０月２４日

室長確認日 ２０１３年１０月２４日

副理事長	中村 悌也	室名	J Cの絆構築室	室長	森田 宣広
------	-------	----	----------	----	-------

室キャッチフレーズ（案）

己を磨き 背中で語れ！

室基本方針（案）

なぜ、あなたはJ Cに身を置いているのでしょうか。なぜ、あなたはJ Cを続けているのでしょうか。今一度自身の心に問いかけてみてください。その答えにたどりついたときには、きっとあなたの周りには沢山の仲間が集まっていることでしょう。

当室では、メンバー一人ひとりがJ A Y C E Eとしての自信と自覚を持ち、市民へ魅力を伝えることのできる環境を作ります。そして、仲間を増やすということは、一委員会の担いではなく、組織全体の基本運動であるということをメンバー全員に浸透させ、一人でも多くの仲間を増やしてまいります。

また、メンバー一人ひとりが信頼と感謝の心をもって、互いを思いやり、称えられるように、多くの交流の場を創出することで、より強固な組織を構築してまいります。そして、友情と絆を深めたメンバーとともにJ C運動を市民へ伝播し、誰からも愛されて信頼される札幌青年会議所を目指してまいります。

委員会	J A Y C E E 拡大・交流委員会	委員長	大和 文典
-----	----------------------	-----	-------

委員会運動方針（案）

人と出逢い、仲間を作ることは自己成長につながる最良の機会です。また、志を同じくする仲間が増えることは、さらなる行動力を生み、組織全体の成長にもつながります。

当委員会では、メンバー全員が主体的に会員拡大に取り組める環境を構築します。また、仮入会者には札幌青年会議所の理念と伝統をしっかりと継承するとともに、多くの交流の機会を創出し、新たな友情と絆を育みながら、J C運動への意欲を高めてまいります。

委員会	渉外委員会	委員長	阿部 英介
-----	-------	-----	-------

委員会運動方針（案）

札幌青年会議所の運動は、一人ひとりがJ A Y C E Eとしての自覚をもち、果敢に運動を継続してきたからこそ、歴史が今日まで途切れることなく続いてきました。

当委員会では、諸先輩が築き上げた伝統を重んじ、さらに魅力ある組織を構築するために、多くの交流の機会を創出します。また、志高き出向者を、L O Mが一丸となって活躍を称えることで、かけがえのない絆を構築する運動を展開してまいります。

社団法人札幌青年会議所 2014年度

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）・委員会運動方針（案）

専務理事確認日 2013年10月23日

常務理事確認日 2013年10月22日

専務理事	佐々木 和也	室名	組織運営室	常務理事	赤地 勇己
------	--------	----	-------	------	-------

室キャッチフレーズ（案）

活発な議論を重ね、JC運動を広く発信！

室基本方針（案）

いつの時代も夢を描き、未来を切り拓いてきた我々のJC運動は、先輩諸氏から脈々と受け継がれてきた規律ある組織運営の上に成り立っています。その基軸となるのが、メンバー一人ひとりの活発な議論であり、札幌青年会議所の伝統を紡いできました。

当室では、運動の効果が広域に亘り浸透し、札幌青年会議所の認知度がさらに高まることを目指してまいります。そのためにも、我々の運動が市民から共感を得られるよう、効果的な情報の発信を行うことで、地域に根差した運動を支援するとともに、我々が一市民の目線をもって波及効果の検証を行い、ブランド力の向上へとつなげてまいります。

さらに、総会・諸会議においては、適正かつ透明性をもった組織であるために、円滑で効率のよい会議の運営を行うとともに、LOMの要であるという自覚と責任をもつことでルールを厳守し、規律のある、組織運営に自ら率先して取り組んでまいります。

委員会	JC運動発信委員会	委員長	三品 幸司
-----	-----------	-----	-------

委員会運動方針（案）

我々の運動や理念が地域社会に浸透し、拡げるためには、発信して終わるのではなく、情報の収集と波及効果の検証が重要です。

当委員会では、全ての事業において積極的に取材を敢行し、正確な情報をホームページやメールマガジンにおいて迅速に届けることで、例会や事業等への積極的な参画を促します。また、マスメディアとの関係をより強固に築き、札幌青年会議所が取り組む真に求められる運動を、広く発信してまいります。

委員会	総務委員会	委員長	斉藤 慎也
-----	-------	-----	-------

委員会運動方針（案）

札幌青年会議所の運動が、地域や市民に浸透し強い影響力を与えるためには、メンバー一人ひとりの積極的な事業への参画と、ルールを深く理解した規律ある運営が必要です。

当委員会では、的確な情報を迅速に伝達することで、諸会議への参画を促すと同時に、相手をおもいやり、ルールを厳守する運営を行います。また、円滑で活発な議論が展開できる環境を整えることで、運動に対する意欲を高め、LOMの活性化へとつなげます。